

博士前期課程

専修科目

建築設計・意匠研究（修士設計） 8単位 Studies in Architectural Design (Studio Work)

建築設計に際し、社会的条件や立地環境、建築機能の分析を行い、理念、プログラム、空間、形態を有する建築として創造できる能力を育成する。また、過去から現代までの建築家の設計理論や設計手法・歴史的背景などを考察し、理解する能力を養成するとともに、建築系高度専門技術者として幅広い領域で活躍できる実践力を育む。

目標：建築設計に関わる諸条件を分析し、導き出した設計コンセプトを空間や形態に発展させた優れた建築を計画することができる。また、設計理論や設計手法・歴史的背景の研究を深めることにより、建築系高度専門技術者として実務的活動ができる。

建築設計・意匠研究（修士論文） 8単位 Studies in Architectural Design (History and Philosophy)

世界の近代・現代建築、歴史的建築、ヴァナキュラー建築を対象とした建築作品の建築史のおよび建築論的、研究を行う。このことにより、建築作品全般の成立の歴史的、文化的、設計論的コンテクストを理解し、建築学およびその関連分野に展開できる問題解決能力を身につけ、建築専門分野における高度技術者としての実践的能力を養う。

目標：建築デザインの発想と展開・具体化・設計のプロセスの建築史的、建築論的理解を深めることによって、建築学関連分野に展開できる実践的能力を身につけ、実務的活動が行える。

都市・地域計画研究 8単位 Regional and Urban Design

都市・まちづくり分野の専門家として、都市・地域の成り立ちや歴史的背景、構成要因、ダイナミズムなどの諸側面について、高度な知識を修得し、具体的な資料や調査に基づいた技法の蓄積と分析力を養うとともに、建築系高度専門技術者として幅広い領域で活躍できる実践力を育む。

目標：都市をシステムとして捉え、1. その成り立ちを説明できる。2. 都市のさまざまな事柄を調査・分析できる。3. 都市の分野において、建築系高度専門技術者として実務的活動ができる。

空間構築研究 8単位 Space Construction Systems

建築空間の設計・施工・維持管理を効率的に進めるため、構成する材料・構法を開発し組織化を図るサステナブル建築の構築能力を養成するとともに、建築系高度専門技術者として幅広い領域で活躍できる実践力を育む。

目標：建築空間の設計、施工、維持管理を合理的に進めるため、材料や構法の開発や、組織化をするなど、建築系高度専門技術者として実務的活動ができる。

建築構造研究 8単位 Studies on Structural Engineering in Architecture

建築構造の専門技術者として必要な専門基礎知識の修得に加えて、解析・設計能力および開発・研究能力を育成するとともに、建築系高度専門技術者として幅広い領域で活躍できる実践力を育む。

目標：建築構造に関する専門基礎知識を修得し、建築構造分野の課題に対する研究開発や構造設計を行うなど、豊かな人間力を持つ建築系高度専門技術者として実務的活動ができる。

建築環境・設備研究 8単位 Environmental Engineering and Building Systems

建築・都市の居住環境設計に必要な環境・設備分野の専門的な知識と技術を授け、環境・設備分野の課題解決のための研究開発能力と環境設計能力を養う。さらに研究で得た成果を社会に提案できる能力を育成し、建築系高度専門技術者として幅広い領域で活躍できる実践力を育む。

建築環境・設備学に関する大学院レベルの広範な専門知識を身につけ、建築環境・設備分野の課題に対する研究開発や環境設計を行って、新しい時代の建築・都市を社会に提案する建築系高度専門技術者として実務的活動ができる。